

# 埼玉師範塾入塾式

平成22年5月8日

高橋史朗理事長挨拶

師範塾の理念

キーワード 志

塾是

師範塾は、師範力ある教育者を育成し「一人からの教育再興」を目指す。

師範力とは、師として範を示すことのできる人間力、豊かな人間性と高い見識で教え導く力のことを言う。

三つの目が大事

着眼対局→「魚の目」潮の流れ時代の流れを的確に捉える目

「鳥の目」→高い所から広い視野に立って全体を見渡す目

着手小局→「虫の目」現場の目線で地べたをはって身近な所細部を見る目

主体変容

↓

他者改善でなく自分自身を変えていく事が大切

\*教育基本法第9条「崇高な使命」「修復」＝自己改善→率先垂範

▼原田総合教育研究所所長の原田隆史（師範塾第2期生）

あらゆる研修を受けました。そんな時、師範塾の存在を知り講師陣のすばらしさに驚かされました。多くの同志が日本におられることに勇気と希望が湧きました。

1、成果の出る指導技術を開発し、個々の分野で徹底する（例えば、いじめの根絶方法。体育授業での組織の作りの方法）

2、態度教育の徹底（無気力・無関心でやる気が乏しく、いわゆる態度の悪い生徒への生き方指導としつけ指導）

3、価値観の向上指導（教師が、まず自分自身に気付き自己向上させる。その上でミーティング・授業・学級活動等を通じて生徒にやる気を高め、元気で活力ある生徒に育てる）

原田先生はこうして必要な事をまとめそれを実践し、親が酷い環境で変わらなくても教師が変われば生徒達が変わる事もあるので、一騎当千の志士として活躍していただきたい。

決意表明（塾生）

心がけたいことが二つある

- ・教育者としての揺るぎ無い理念を持ちたい
- ・多くの実践をして成果を出したい

現場からの教育改革の傍観者でなく現場から教育改革の発信をしたい

私自身が変わり自立した教師になりたい

そうすれば明るく前向きな自立した日本を創る事も出来るので是非頑張りたい

講座（上田清司知事）埼玉師範塾に期待する

高橋史朗先生を始めすばらしいメンバーに出会え、オバマ大統領が若い頃クリントン元大統領に出会った事などが人生の岐路になったようにすばらしいメンバーの方々に出会える事が人生を変えるきっかけになると思うので、塾生の皆さんに期待している。

学生時代、非行少年を達を目の当たりにした事によって教師を目指そうとした。

しかし、教師には救える子供達の数に限界がある事を知り政治家になろうと思った。

塾を設立した時、奇跡を起こすために通信簿1、2の子供達をしっかりと努力するようにきっかけをつくり指導したら4になったりした。

中学生に最初に結果を出させ、その後納得させて小学校低学年の勉強を反復練習させた。

教えるというよりもしっかりと考えさせ勉強してもらった。

新自由クラブで出馬し、落下傘候補として法定得票数を取った事が認められ実家のある福岡でなく、旧埼玉5区を本拠地にする事を決めて、10年位で当選しようと思っした。しかし、4回落選したときには死なない程度に病気にでもなって辞めようかと思っしたが、友人が司法試験に5回失敗している話を聞いてもう一度頑張ろうと思っ頑張って初当選した。その後、知事選挙に出て初当選した後に衆議院議員時代からおつき合いのあった高橋史郎先生を教育委員会にお願いし、当初は新しい歴史教科書をつくる会の副会長をやっていた事を批判した労働組合や左翼の連中が一斉に抗議してきたが圧力を気にせず教育委員に任命した。

高橋史朗先生は、ある学校の先生のお手紙によって非行少年、退学者が多い学校を再生させてきた実績があり、是非教育委員会にして欲しいとの話も聞いて、教育委員会任命を決意した。

役人は単年度主義で専門バカになる所があり、硬直化した組織になりがち。その割には言い訳ばかりで事実の数値を知ろうとしない。収納率の低さ、不登校率の高さなど。事実を知ることによって改善しようと努力する。

事実を知る事の出来る資料を作成して、事実を関係市長村にお知らせして、改善した。

具体的に分析して、何が必要かを考え対策し重要犯罪検挙率などは全国46位から27位まで上がった。

学力、体力を規律ある態度を良くするために、3つの達成目標を持って取り組んでいる。学校ファームの取り組み、田植えをして水を張って、田んぼに生命が誕生し、水を抜いて秋には稲刈りをするなどの体験は大切であるので、平成23年までにすべての学校でやろうと考えている。手抜きはチェックするつもりである。

親を選ぶ事が出来ないが、良い先生に出会える事は出来る。

小学校時代に良い先生にめぐり会えた事が良かった。

親のいない埼玉学園の分校に、上尾市の特別の配慮で最強の先生を配置してくれ、さらに寮母寮長さんもしっかりとしているので、子供達はとても素晴らしい子ばかりである。礼儀正しくはきはきとした子供達ばかりで成績も良く立派な所に就職する人も多い。

子供達に範を示し、希望と夢を示せば、立派な先生になれる。

職業としての政治マックスウェーバー硬い石に火をつける事を目指すように、なかなか火のつかない人に火をつけるという難しいものであるが、それでもなおという志が必要なのではないかという意味では、政治家と同じ部分がある。志を持って頑張っていたきたい。

埼玉の教育が良くなる事は日本の教育が良くなる事である。

埼玉は日本の縮図であるので、大都市あり、山間部あり、農村部のある埼玉で成功すれば日本で成功出来るので、師範塾の皆さんには是非頑張っていたきたい。

質疑応答

明星大学学生さん

上田知事の成功事例はただならない努力があったと思うが、時間の有効的な使い方をお聞きしたい。

上田

あんまりそういうコツはないが、忙しいので気がついたらすぐにやる事になっているし、役人はそうした事が苦手なのですぐやるように指導している。  
成功する気持ちがあれば成功する。ハートのある先生であれば好かれるし非行少年もついてくる。

中村てんぷう著 成功の実現 を読むと元気が出る。

高校教師

教育ファームは良いことだと思うし挨拶も出来る事も良いに決まっているが、横着する学校もあると思うし従わない生徒もいると思うが、そういう価値観の違う人たちにどうアプローチをしたら良いのか。

上田

挨拶の出来ないのは、県庁職員でもたくさんかつてはいたがこちらが、めげずに大きな声で挨拶するようになった。  
粘り強く気持ちを良いからやってみようといひ続けるしかない。

神奈川県教師

知事の変革力はどこから来ているのか。事実を見せるだけではなかなか変わらないのでは？

上田

成功の秘訣は最後は「しつこさ」である。マックスウェーバーの「それでもなお」という気持ちが大事。また、やらないと知事に対して、ごまかしはきかないと思われているので

職員がやるのだと思う。

ちゃんとやったというだけの行政文化ではだめ。しっかり結果を出したかチェックする。

春日部市教師

いじめ問題について勉強してきたが、いじめられた事で命を落とす子供達もいる。しっかりとシステムだとか法的なものがあった方が良いのではと思う。正しい感覚を持って教育していく方法は？

上田

社会全体が悪くなる時はどんどんいじめも含め悪くなっていく、平成16年頃が一番の底で、そこで抑止しようとする気持ちが目覚めてきたので、現在は少しは良くなるつつある。

埼玉でも学校応援団をつくるなどして対応をしているが、すべての解決にはいたっていない。共同体の強い地域は不登校などの問題はないが、都市部はそうはいかないので、最後は学校の力一人の教師の力でも変えられる事は可能なので、現場の力で努力していただきたい。